

『MAB計画委員会 議事録要旨』

場所：横浜国立大学環境情報棟4号棟201号室

日時：2010年9月30日 15:00～17:00

議題：COP10サイドイベント打ち合わせ、活動報告、今後の活動方針ほか

出席者

計画委員：鈴木邦雄、松田裕之、岩槻邦男、酒井暁子、

J-BRnet：増沢武弘、湯本貴和、松井淳、朱宮丈晴

計画委員会事務局：山口（池田）史枝、若松伸彦

司会：松田裕之

【MAB活動】

この一年間の主な活動は計画委員会事務局より説明

【COP10サイドイベントについて】

? 事前打ち合わせを当日12時から行なう

? サイドイベント

総合司会：鈴木邦雄

基調講演：アナ・パーシック、鈴木克徳

パネル討論：司会 松田裕之

パネリスト アナ・パーシック、鈴木克徳、サルバトール・アリコ、洪善基、高野孝子（その後、アリコ氏は来日取り消しと連絡あり）

? サイドイベントの後、15時から計画委員会を行う

? 計画委員会の後、綾町へ移動し視察を行う

綾町への参加者

鈴木邦雄、酒井暁子、

【ユネスコエコパークの現状とこれからの展開】

各地点のユネスコエコパークの実情についての報告、意見交換を行なった。

- ・ ジオパークの登録が盛んになってきている。なぜ、ジオパークの方に惹かれるのか。
- ・ ジオパークは日本ジオパークへの登録が簡単で、それに比べて世界ジオパークの登録が難しいというのが取つきやすいのではないのか。

里山の地域をどう扱うべきか

- ・ 里山地域は二次的なものであるため、コアエリアが存在しないことになり登録は難しいのではないか。
- ・ BRの認定とは別のカテゴリーで里山地域を含められるようにしたらどうか。

白山

- ・ ユネスコエコパークに指定された当時には自然保護センターにいた人が中心にユネスコエコ

パークの登録に腐心してくれたが、この人以降はユネスコエコパークの情報が切れている。

## 綾町

- ・ サイドイベント翌日から行われる綾町の視察について
- ・ 綾町のみがまず登録するのに対して、他の地域に隣接するコアエリアがバッファゾーンに囲まれていない地点はBRの登録の際に問題視されるのではないか。
- ・ バッファゾーンとトランジションエリアがあまり入り組んだ形にしないほうが良い。
- ・ 林野庁などで伐採をおこなっている場所や、周囲の市町村に呼びかける時にはトランジションエリアにすることをすすめたらどうか。その方が参加しやすいと考えられる。

? 計画委員会を現地で開き、ユネスコエコパークを現地の人達に認識して貰ってはどうか。現地で開催する場合は、現地の行政の人などにも参加してもらう。

? ユネスコエコパークの登録地には、連絡窓口を作ってはどうか。現地のできれば行政に窓口としてつくり、MAB計画委員会に連絡を取りやすくすること、認識して貰うためにもいいのではないか。

## 【日本ユネスコエコパーク (MAB/BR) 登録地・候補地ネットワーク】

- ・ J-BRnetの設立が承認された
- ・ 名称について

日本名 日本ユネスコエコパーク登録地・候補地ネットワーク

英名 Japan BR Network

- ・ 座長 MAB計画委員長が兼任する
- ・ 事務局 MAB計画委員会が兼ねる
- ・ 規約を新たに設定する。これを機にMAB計画委員会の規約と任期の見直しを行うこととする。
- ・ メンバーの決定方法は、MAB計画委員会の承認によりなされる
- ・ MAB計画委員会はアカデミックな側面を有し、このJ-BRnetでは行政などの人達に参加を願う。(教育委員会にも声をかけたらどうか)

## 【アースウォッチ・ジャパンの協力について】

- ・ アースウォッチ・ジャパン (以下、EJ) と意見交換を行った。
- ・ EJは、教育者の教育が中心であり、モニタリングの調査などを行っている。これを登録のための調査などに利用できるのではないか。

配布資料 (略)

作成：ユネスコ日本MAB計画委員会

事務局 山口 史枝

作成日：2010.10.02

修正日：2010.10.07